

「歩いて楽しい東大路」整備基本構想（素案）

1 東大路通の現状

東山地区は、豊かな文化財や優れた庭園をもつ社寺が多く集まり、四季を通じて多くの観光客が訪れる歴史と文化の薫る国際文化観光都市・京都を代表する地区となっています。

この東山地区を南北に縦貫する東大路通は、観光ルートとして、また、東山区民の生活道路として多数の人や車が行きかう道路であり、京都の中でも重要な道路の一つとなっています。

しかし、東大路通の現状は以下とおり、安心、安全で快適に歩ける道路空間になっていません。

この整備基本構想は、「歩いて楽しい東大路をつくる会」で議論した「人と公共交通優先」の「歩いて楽しい東大路」の整備に向けて克服すべき課題や基本方針をまとめたものです。

道路環境の現状（東山三条～東福寺）

- 歩道の幅員・段差などのバリア（障害）が存在しています。
- 東大路通は、都心部の幹線道路で、交通量が多くなっています。

道路幅員に係る現状（東山三条～東山七条）

- 歩行者、自転車、自動車の安全な通行環境が整っていません。
- 主要な移動手段の公共交通は路線バスであるにもかかわらず、良好なバス待ち環境が不十分となっています。
- 主要な交差点を除いて、沿道アクセスのための右折レーンがありません。
- 開晴館の開校により、多くの児童、生徒の通学利用が見込まれます。

不適切な道路利用に係る現状

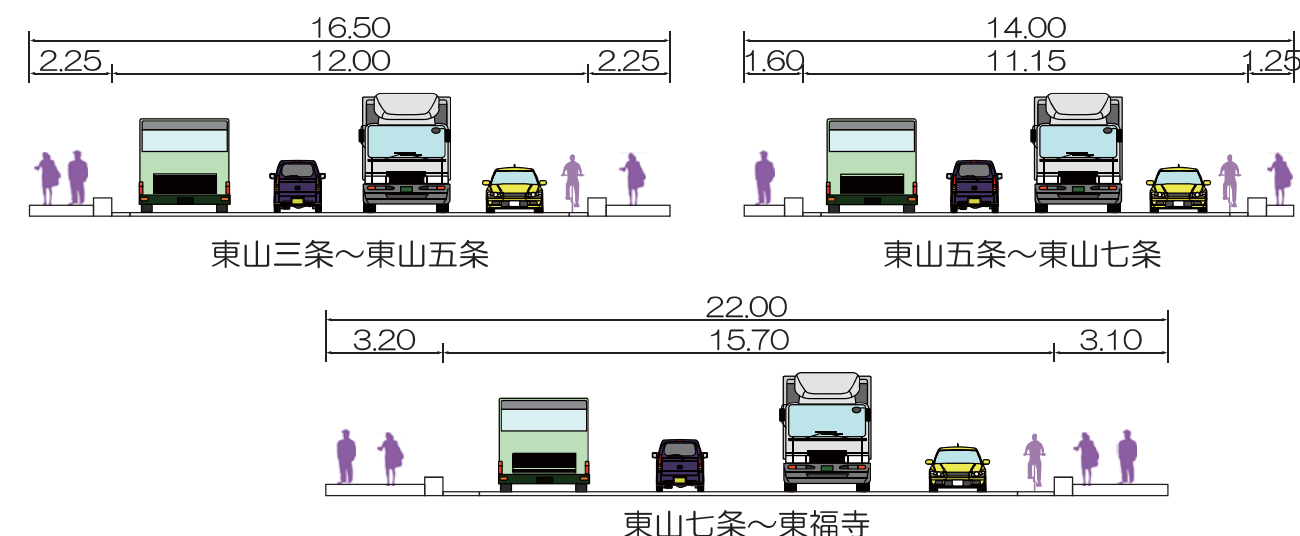
- 路上駐車・荷捌き車両が、円滑な交通に支障を及ぼしています（東山三条～東山七条）。
- 歩道上への商品のはみ出し陳列により、歩行空間の通行環境が低下しています（東山七条～東福寺）。



■ 区間別交通量と横断面構成

	東山三条～東山五条	東山五条～東山七条	東山七条～東福寺
道路幅員	16.50m	14.00m	22.00m
交通量	自動車	27,225～27,675台/24時間	25,993台/24時間
	自転車	995～1,061台/12時間	709台/12時間
	歩行者	2,738～3,034人/12時間	1,334人/12時間

※ 表中の交通量は、平成17年道路交通センサスの平日のデータ

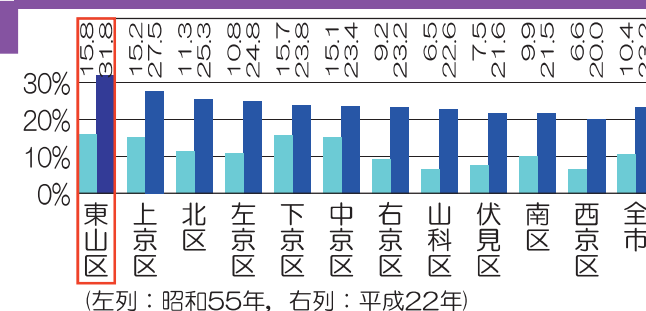


■ 東山区の現状

京都市の行政区の中で高齢化率が一番高い

京都市の行政区の中で、高齢化率（65歳以上）が31.8%（3人に1人）でもっとも高い行政区となっています。

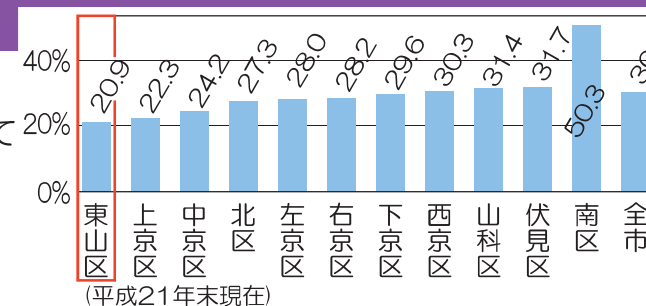
また、昭和55年と比較すると、高齢化が著しく進んでいます。（右図の「行政区別高齢化率の推移」参照）



京都市の行政区の中で自動車保有率が一番低い

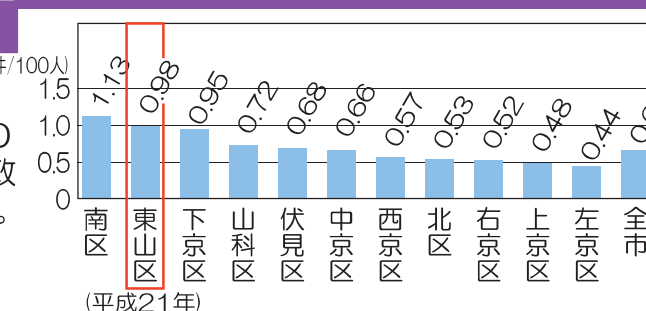
区民一人あたりの自動車保有率は20.9%（5人に1台）であり、京都市の行政区の中で一番低くなっています。

（右図の「行政区別自動車保有率」参照）



人口あたりの事故件数が高い

平成21年中に東大路通（三条～七条）で発生した交通事故件数は56件であり（平成21年）、人口100人あたりの事故発生件数は0.98件で、京都市の行政区の中で、南区に次いで2番目に高くなっています。（右図の「区民100人あたりの事故件数」参照）



2 東大路通における課題

歩道の幅員・段差などのバリア（障害）が存在しています（東山三条～東福寺）

歩道と車道との段差が大きい箇所や、横断勾配の急な箇所があります。また、東山三条～東山七条は、歩道幅員も狭く、高齢者や身体に障害のある方などが安心、安全に通行することが難しい環境になっています。



馬町周辺の歩道状況

歩行者、自転車、自動車の安全な通行環境が整っていません（東山三条～東山七条）

車道、歩道の幅員が狭く、歩行者にとって、安全で快適な通行環境が整っていません。また、自転車についても、原則として車道を走行する必要がありますが、車道が狭く、歩道を通行することもあり、自転車の安全な通行環境も整っていません。



東大路通の交通状況

東大路通は都心部の幹線道路で交通量が多くなっています（東山三条～東福寺）

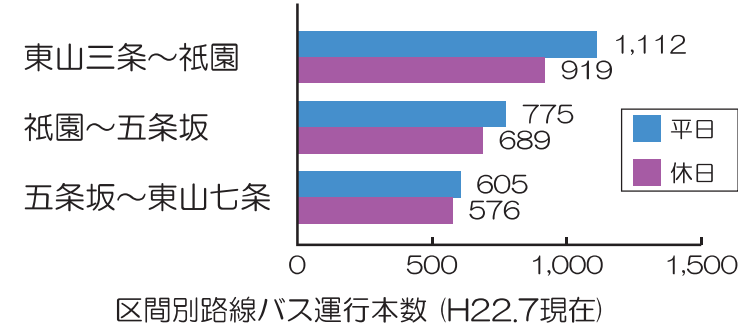
沿道に官公庁や病院など生活に密着した施設や、名所、旧跡、文化施設などの観光施設が多数存在することから、自動車や歩行者などの通行が多くなっています。さらに、平成23年4月には、小中一貫校（開晴館）が開校し、多くの児童や生徒が東大路通を通学路として利用することとなります。



東山五条の混雑状況

主要な公共交通は路線バスですが、良好なバス待ち環境が整っていません（東山三条～東山七条）

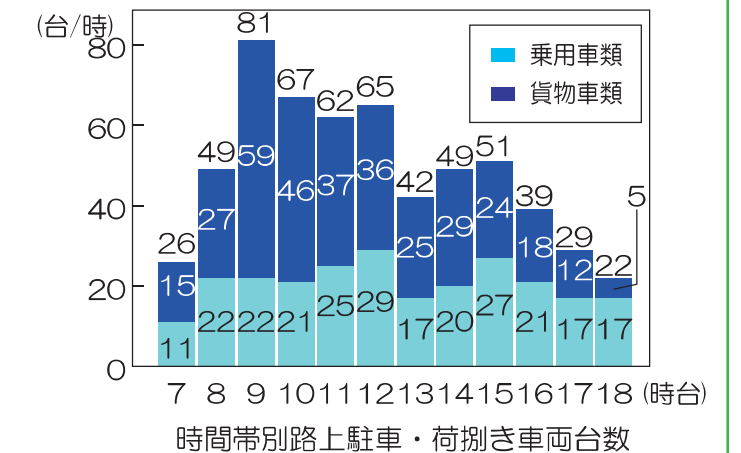
沿道での公共交通による主要な移動手段である路線バスは、運行本数が多く便利な一方、バス停にバスが集中することがあります。また、バス乗降客が狭い歩道にあふれ、歩行者の通行に支障を及ぼしています。



バス待ち状況

路上駐車・荷捌き車両が円滑な交通に支障を及ぼしています（東山三条～東山七条）

路上駐車や荷捌き車両により、直進車両の通行を阻害し、交通渋滞の要因になっています。



歩道上へのはみ出し陳列により、歩行空間の通行環境が低下しています（東山七条～東福寺）

歩道幅員が十分に確保されているにもかかわらず、歩道上への商品のはみ出し陳列や、車道部への自転車の駐輪などにより、安全、快適な通行に影響を与えています。



車道への駐輪状況

3 東大路通に対するこれまでの地元要望

■ 区民、観光客が快適に利用できる東大路

平成14年度から平成21年度まで継続して、東山区市政協力委員連絡協議会において、全学区の要望として「区民、観光客が快適に利用できる東大路通の整備」が強く求められています。

■ 安心・安全で快適な歩行者空間の創出

東山地区においては、平成16年度から、地元住民、交通事業者及び関係機関等との連携・協働による東山交通対策研究会において、秋の観光ピーク時に観光地交通対策を検討・実施していますが、平成20年3月に開催された同研究会において、地元委員から、「安心・安全で快適な歩行者空間の創出」が求められています。

■ 東大路通の車道幅員の見直しを含めた歩道拡幅と電線地中化事業の推進

平成21年2月4日に、「東山区交通安全対策協議会」から、京都市長に対して「東大路通の車道幅員の見直しを含めた歩道拡幅と電線地中化事業の推進」に係る要望書が提出されました。

4 「歩いて楽しい東大路」の整備に向けた基本方針

■ 東大路通の目指す姿

現在の道路幅員の中で、歩行者が安心・安全、そして快適に通行できる歩行空間を確保するとともに、「環境」、「景観」、「地域コミュニティ」、「観光振興」等の視点からも「歩いて楽しい東大路」を目指します。

ハード整備

- ・ 歩行者が安全で快適に通行できる道路とするため、歩行空間の拡大と交通安全性の向上及び自動車交通の抑制を目指します。
- ・ 歩行者の安全に配慮した歩行空間の確保を目指します。
- ・ 公共交通の円滑な運行を目指します。

ソフト対策

- ・ 区民自らが、クルマ依存型の生活を見直し、自然と調和したゆったりした暮らしを来訪者にも提唱し、ゆっくりと歩いて「五感で楽しむまち」を目指します。
- ・ 歩行者も自転車も自動車も交通ルールとマナーを守り、交通安全を実践します。
- ・ 車道や歩行空間において、路側への自転車駐輪や歩道上への商品陳列等の通路の不適切な利用を改めます。

■ 「歩いて楽しい東大路」の整備のための前提条件

「歩いて楽しい東大路」を整備するためには、多くの課題があります。これらを克服するためには、東山区民の理解と協力の下、クルマを重視したまちと暮らしから「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに大きく転換することが必要です。

「歩いて楽しい東大路」整備のための施策案	左記施策の実施に係る課題	課題解決に伴う前提条件
歩行空間の拡大	放置自転車やはみ出し陳列、看板等の増加	地域ぐるみの道路の適切な利用の検討、推進
	電線類地中化に伴う地上機器設置箇所の確保	地中化に係る沿道住民の理解と協力
車道幅員の減少	自動車交通容量低下による東大路通及び周辺道路での交通混雑の発生	周辺道路への適切な分散 過度にクルマに頼らないライフスタイルへの転換
	荷捌き、路上駐車による自動車交通の走行性の低下	地域に応じた荷捌きルールの検討 路上駐車対策の検討
	路線バス運行に係る自動車交通の走行性の低下	路線バスの効率的で円滑な運行の検討

5 「歩いて楽しい東大路」に求められる姿（地元要望、意見）

資料1. 参照

○「歩いて楽しい東大路」の整備の方向性

現在の道路幅員の中で，歩行者が安心・安全，そして快適に通行できる歩行空間を確保するとともに，「環境」，「景観」，「地域コミュニティ」，「観光振興」等の視点からも「歩いて楽しい東大路」を目指します。

環境

- ・道路空間を見直すことにより，クルマ中心から歩行者中心とした東大路通の整備を目指します。
- ・安全，快適に通行できる歩行空間の整備を目指します。
- ・自転車にも安全な道路空間の整備を目指します。

景観

- ・道路空間の見直しと併せて無電柱化を実施することにより，優れた景観の東大路通の整備を目指します。

地域
コミュニティ

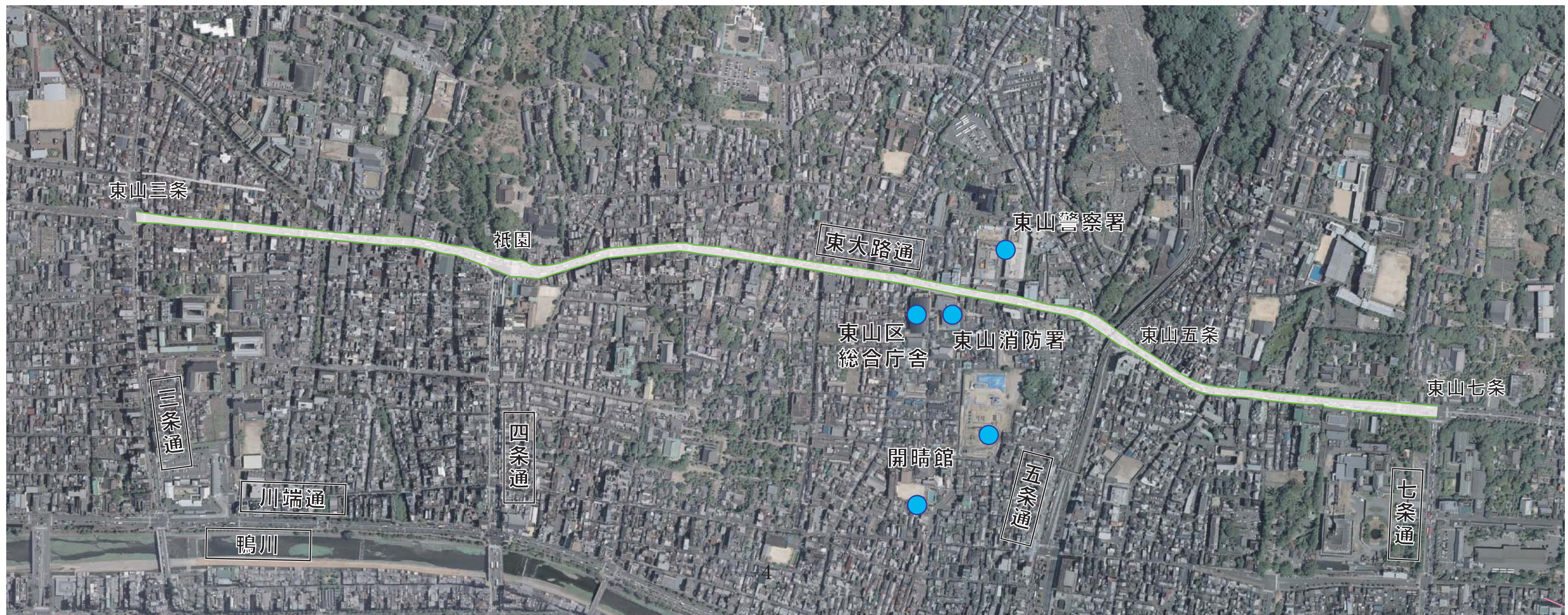
- ・活気やにぎわいにあふれた東大路通の整備を目指します。

観光振興

- ・観光客が歩いて観光を楽しむことできる東大路通の整備を目指します。

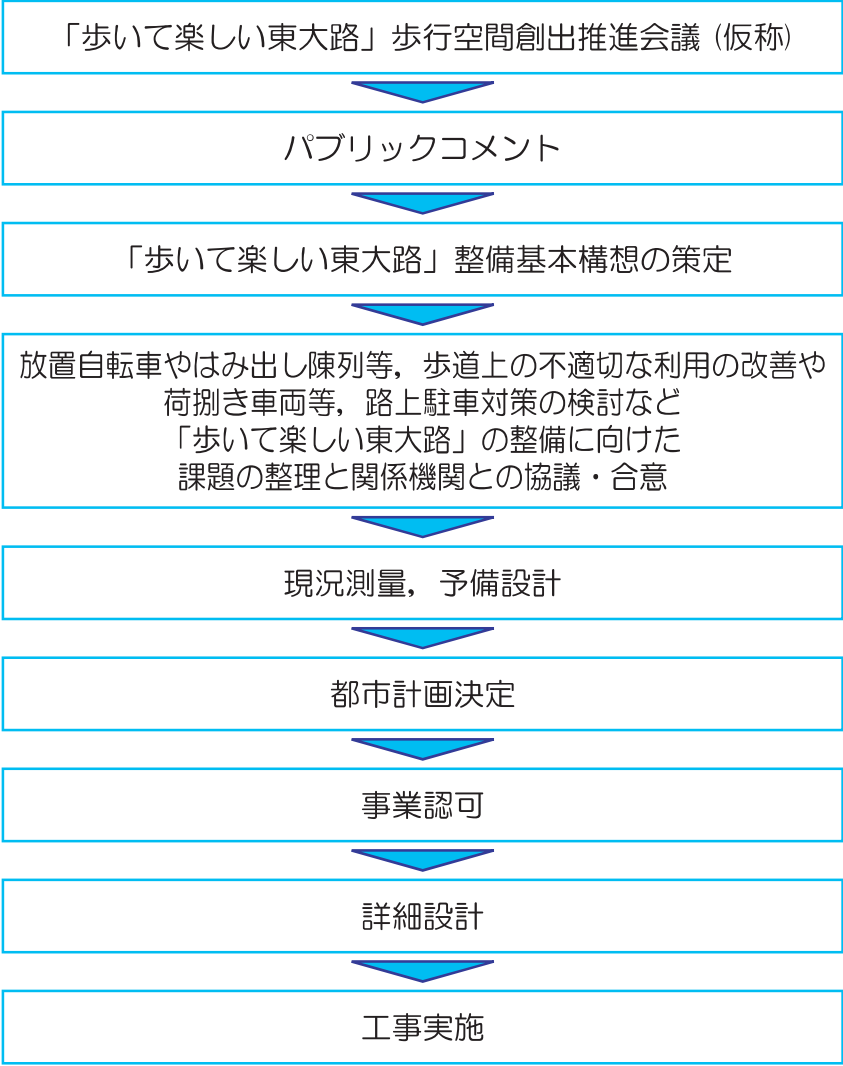
その他

- ・バス停車時に後続車が通行できるように配慮するなど，自動車の円滑な交通を目指します。
- ・緊急車両が通行できる道路構成とすることにより，安心して暮らせるまちづくりを目指します。



7 「歩いて楽しい東大路」の整備の流れ

今後は、以下の流れに沿って「歩いて楽しい東大路」の整備を推進していきます。



8 区民ぐるみで取り組む「歩いて楽しい東大路」推進プロジェクト

※ 「歩いて楽しい東大路」の整備に向けて、各学区で実践できる取組を記載します。